

競技注意事項

- 1) 2026年度日本陸上競技連盟規則と本大会要項を適用する。
- 2) 点呼については、以下についてを確認すること。
 - ・一次点呼は、選手招集所で行う。(掲示板に○をつける) 筆記用具については、できる限り自分のものを使用する(協会の筆記用具も一応準備します)。。
 - ・招集完了時刻(トラック競技においては競技開始15分前、フィールド競技においては競技開始20分前まで)に、トラック競技・フィールド競技ともに100m後方の所定の場所に集合し、審判の指示に従い整列する。
 - ・トラック・フィールド競技が重なった場合は、トラック競技を優先させること。また、重なっていることを点呼用に記入し競技者係に連絡すること。
 - ・試技順等は日本陸連ルールを適用する。
- 3) リレーのオーダー用紙は、招集完了1時間前までに提出のこと。(用紙については、プログラムに同封しているものに記入の上、本部1階記録・情報処理係に提出してください。もしも入っていない場合は、競技者係でもらってください)
- 4) アスリートビブス(ナンバーカード)は、胸部と背部に折らずに確実につけること。
ただし、跳躍競技においては、この限りではない。
また、トラック競技においては、スタート前に腰ゼッケンを右腰に付けること。シャツ等を出して腰ゼッケンが隠れることがないように注意すること。
※アスリートビブスは、今シーズンの小樽後志陸上協議主催大会において同じ番号を使用しますので、各自で保管してください。また、次回以降の大会申込の際に同じ番号を入力(記載)してください。
- 5) 100m以外はタイムレース決勝とし上位3位までに賞状を授与する。
- 6) フィールドの試技は3回とする。
走高跳のバーの上げ方は、練習の状況により競技進行時間をふまえて、主任が決定する。場合によっては2段階の高さでの練習を行う。
- 7) 競技場内への応援等での立ち入りを禁止する。
- 8) 競技終了後に賞状を発行するので団体ごとに本部2階で受け取ること。
(記録証の発行は行わない。HPの資料を参照し、各自で印刷してください。)
- 9) スパイクシューズを使用する場合は、全天候用の9mm以下のピンとする。
- 10) ウォーミングアップは競技に差し支えないようバックストレート側走路を使用してもかまわない。※競技場上の野球場には決して入らないこと。
- 11) ごみは必ず各自持ち帰ること。※ごみ箱は設置していません。